

Ⅰ 学校の教育活動の取組の重点

- 【明るい子供】進んで挨拶し、正しいことを堂々と実践できる子供
人権教育・道徳教育の充実、生徒指導・教育相談の充実、読書指導の推進
- 【考える子供】確かな学力をもち、大事な時に力を発揮できる子供
確かな学力の向上、特別支援教育の充実
- 【がんばる子供】自他の命を大切にできる行動ができる子供
学校体育の充実、学校保健の充実、安全教育・食育の充実

2 評価結果（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの4段階評価）

評価項目			評価結果		
			児童	保護者	教師
明るい子ども	1	「いじめ、不登校解消100%」に向けて、早期発見・早期対応、互いの良さを認める集団づくりに努める。	3.1	3.1	3.0
	2	学校のきまりを守る。	3.4	3.3	2.6
	3	自分から進んで元気なあいさつをする。	3.5	3.0	2.6
	4	学力の基盤に向けた読書活動を推進する。 【目標貸出冊数…低120冊・中100冊・高80冊、全校10万冊】	3.3	3.4	3.2
	5	家庭での音読・読書活動の習慣化、家族読書に取り組み、活字に触れる時間や環境を作る。	2.8	2.9	2.1
	6	家庭での仕事（一家庭一役割）を決め、家族の一員としての自覚を高めさせるとともに、自分のことは自分でできる態度を育成する。	3.2	2.7	2.8
考える子ども	1	「学習の構え」（1分前着席・黙想・学習用具の準備、机上整理）の徹底に努める。	3.3	3.4	2.9
	2	授業充実の3ポイント（めあて・問題解決・確実な定着）、ICT機器の効果的・効率的な活用により授業内容の確実な定着を図る。	3.4	3.3	2.9
	3	「学力向上7つの徹底事項」（特に、書く・反復・定着・読書）の共通実践に努め、確かな学力の向上を図る。	3.2	3.3	2.8
	4	家庭学習の充実に向け、自ら学習に取り組むようにする。 【低学年40分以上、中学年60分以上、高学年90分以上】	3.3	2.9	2.9
	5	学習に必要な道具を自分で準備する習慣を身に付けさせる。	3.6	3.2	2.8
がんばる子ども	1	教科体育の充実（運動量の確保、柁城体操の効果的な活用）と体力向上（かけ足・なわとび）に努める。【新体力テストの全国平均以上6割達成】	3.1	3.3	2.7
	2	スクールゾーン対策委員会や柁城の子見守り隊との連携を図り、事故0（校内・交通）を達成する。	3.5	3.3	3.3
	3	家庭、学校保健委員会と連携した健康習慣と生活習慣の確立を図る。	3.3	3.3	2.9
	4	「早寝・早起き・朝ごはん、歩いて登校」「午後9時以降のゲーム・スマホ等のメディアダウン」の習慣化を図る。	3.4	3.1	2.5
	5	早期の疾病治療（特にむし歯）に努めるとともに、自転車に乗る場合、自転車保険に加入し必ずヘルメットを着用する。	3.6	3.4	2.8

3 本校の教育活動に対する主なご意見

- 毎日、図書館で好きな本を借りて読めることがとても楽しいようです。
- 最近、色々なことに自分で進んで動けるようになり、成長を感じております。
- △ 柁城の子供たちは、他校区と比べて挨拶が少ないように感じられます。
⇒2学期は重点的に指導していきます。ご家庭や地域全体でも声掛けをお願いいたします。
- 高学年は、中学生に向けて自主学習だけでなく、宿題をもっと増やしても良いと思う。
- △ 宿題に関しては、毎日かなり時間をかけて取り組んでいますが、なかなか難しいです。
⇒家庭学習に取り組む時間や内容等は学年を中心に検討していきます。個別にも相談を受け付けますので、気になることがありましたら、担任へお知らせください。
- △ 縫い付けのネームは防犯上、良くない。改善案としては取り外し可能なネームとし、校内でのみ装着する。
- △ 靴と靴下を白だけでなく、黒や紺もOKにしてほしいです。
⇒ネームや靴、靴下については、PTA総務委員や職員が中心となり、今後検討していきます。